

短歌 全16首

サマージャンボ無きに等しき幸運を身近に思う束の間の夢  
目覚むれば今日の予定を思ひつつ普通の生活ある幸せよ  
夏土用部活帰りの学生さん鰻屋の脇少し休憩  
水害に地震新型コロナウイルス病起こる災難終息祈る  
美しき花の寿命は短かくて庭の白百合散るを惜しみぬ  
ご近所さん『毎月詠んでいますよ』とひとことうれし地域の絆  
コロナ危機釧路から来た木彫鹿小首をかしげ微笑んで居る  
夕日とは酢酸カーミンに染まる細胞の核墮落する我  
お財布にマスクに手提げ確認し出かける夫は買物がかかり  
岡井氏の計報に接し改めて現代短歌入門を読む  
同級の友へ弔辞の稿を書く八十路なかばを過ぎてしみじみ  
災害とコロナ不安のよぎる中藤井聡太の明るいニュース  
畑で聞く六時のチャイムで腰を上げ草におわれて明日も頑張る  
都会から山里生家移り住みコロナのニュース不安が続く  
難聴故に話題にのれぬ歯痒さよなれど心大らかに持ちたし  
三日生き庭に転がるあぶら蟬わずかに動く手足悲しき

皆野 萩原 初恵  
三沢 新井 民子  
皆野 大澤 貴夫  
皆野 根岸 詩子  
下田野 浅見 豊子  
皆野 石原 達也  
皆野 戸塚喜久雄  
皆野 太幡 琉美花  
皆野 引間 万亀  
皆野 打木 昭廣  
三沢 眞下 杏子  
国神 藤原マキ子  
皆野 村田ハツ代  
上田野 四方田利男  
三沢 新井 叶子  
下田野 新井 節子

榎本順江選 投稿数 14句


漆黒の空駆け巡るはた神  
評雷の別名はいろいろあり、雷神、いかずち、はた神、鳴神等々。はた神は途方もなく激しい音をたてて雷が鳴ること。漆黒の空は音と光が駆け巡り、静まるのを待つ怖い一時です。二句目、札所への道中、辻々に咲く紫陽花は、地元の人達によつて植えられたのでしょうか。足を止めた人達は多彩な紫陽花に元気を貰い札所へ伺います。巡礼の思い出の中に紫陽花も添う事でしょう。三句目、収まらないコロナに不安の中、土用の丑の日、夏バテ予防に鰻の夕餉です。万葉の昔から鰻は夏負けの薬だったそうです。夏バテにもコロナにも負けないよう、いつもより上等な鰻でしょうか。話題もはずんで美味しく楽しい夕餉です。

この辻も次もアジサイ巡礼路  
暑中見舞いコロナに負けじと添書す  
三沢 新井 叶子  
皆野 戸塚喜久雄  
皆野 萩原 初恵  
皆野 藤原マキ子  
三沢 眞下 杏子  
下田野 新井 節子  
皆野 根岸 詩子  
下田野 浅見 豊子  
皆野 根岸 詩子  
身を休め心遊ばす合歡の花  
下田野 豊子  
皆野 根岸 詩子  
三沢 新井 民子  
皆野 大澤 貴夫  
皆野 根岸 詩子  
皆野 石原 達也  
皆野 戸塚喜久雄  
皆野 太幡 琉美花  
皆野 引間 万亀  
皆野 打木 昭廣  
三沢 眞下 杏子  
国神 藤原マキ子  
皆野 村田ハツ代  
上田野 四方田利男  
三沢 新井 叶子  
下田野 新井 節子

俳句・短歌を募集  
作品には、ふりがなをつけ、住所・氏名・電話番号を明記して  
みらい創造課までお寄せください。  
1人1句、1首に限ります。

**3日必着**

1歳になる赤ちゃんを募集しています



10月号の締め切りは、9月10日(木)です。

ご応募いただいた赤ちゃんは、全員掲載します。誕生月の前月10日までに、みらい創造課窓口(写真をご持参ください)または、町ホームページからお申し込みください。

**問合せ** みらい創造課  
みらい創造担当  
☎26-7334

1歳のお誕生日おめでとう

ゆわ 夢和ちゃん  
上の台区  
茂木 聡さん  
沙織さん



Happy Birthday

イタズラが大好きな夢和ちゃん！  
生まれてきてくれてありがとう♡

今月の題字  
皆野中3年  
関根 小紅さん  
こべに



児童の見守り放送  
国神小6年  
新原 楓愛さん  
ふうあ

